

カリキュラム

		1年		2年				
		前期	後期	前期	後期			
		建築基礎・設計製図トレーニングで基礎力を養成	設計基礎力の強化、設計専攻・施工専攻のいずれかの専門分野を学ぶ	意匠・構造・管理・技術コースの中から1つを選択し、専門性を強化	卒業制作…2年間の集大成としての設計制作、プレゼンテーションを実施			
建築系 共通科目	建築製図 I	→		建築製図 II	→			
	設計製図 I	→		設計製図 II	→			
	建築製図 I 文字の描き方、線の引き方の練習から始め、建築図面の作図・読図を習得します。これから学ぶすべての製図実習における基本となる技術を身につけます。 		設計製図 II 発想法やプレゼンテーションを学び、より良い建築のための設計手法を習得します。さらにグループ設計によりコミュニケーション力やマネジメント力を養います。 					
	建築計画 I	→	建築計画 II	→	建築材料科学 I	→	建築材料科学 II	→
	建築法規 I	→	建築法規 II	→	建築環境工学	→	建築設備	→
	建築史 I	→	建築史 II	→		→	建築積算	→
	建築一般構造 I	→	建築一般構造 II	→		→		→
	構造力学 I	→	構造力学 II	→		→		→
	情報処理演習	→	CAD 設計製図 I	→	CAD 設計製図 II	→		→
			建築施工法 I	→	建築施工法 II	→		→
建築史 I 西洋と日本、それぞれの時代の建築について学習し、建築の変遷を理解。現代に通じる建築の歴史を学びます。		CAD 設計製図 I 基本練習を中心として建築図面の作成までを課題を通して学び、業界で通用するCADの基本操作について習得します。		建築環境工学 望ましい室内環境を形成するための知識を学習し、地球環境と省エネルギーについての理解を目標とします。		建築積算 建築における積算の位置づけを考察し、実際の建築工事に関わる設計図面から工事費などを予測する積算の技術を習得。 		
専門 科目	2専攻・4コース それぞれの専攻コースでは、現場見学会やワークショップ、実技課題など業界のニーズに対応した多彩な要素を取り入れ、各分野の理解を深めます。		(設計専攻) 設計特論 I	(意匠コース) 意匠特論 I	→	意匠特論 II (卒業制作)	→	
			(施工専攻) 施工特論 I	(構造コース) 構造特論 I	→	構造特論 II (卒業制作)	→	
				(管理コース) 管理特論 I	→	管理特論 II (卒業制作)	→	
				(技術コース) 技術特論 I	→	技術特論 II (卒業制作)	→	
	計画演習 I	→	計画演習 II	→		→	CAD 設計製図 III	→
構造力学演習	→				→	建築計画 III (環境デザイン)	→	
構造力学演習 構造設計分野では構造力学の知識が重要となります。ここでは、演習を交えながら基礎から解説。習得を目指します。 		計画演習 I・II 描写力、表現力を身につけ、発想力や構成力を高めるとともに、基本的な図法やプレゼンテーションの表現方法を学習します。		意匠・構造・管理・技術コース 設計専攻は意匠・構造コース、施工専攻は管理・技術コースの4コースに分かれ、学生それぞれの適性を掘り下げます。 				

※2018年度開講科目と異なる場合があります